

北海道札幌視覚支援学校



学校だより

令和6年度 第4号

令和7年3月24日発行

〒064-8629

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号

TEL 011-561-7107

URL <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp/>

「かしこくなる道」

校長 野戸谷 睦

今年1年最終の「学校だより」となりました。みなさんにとっての1年間はいかがでしたか。これまでもふりかえつつ、タイトルの「かしこくなる道」について考えてみようと思いました。

ある生徒さんからこんなことを言われました。「校長先生から校長室で皿回しを教えてくださいなんて驚きました」と。たしかにそうですね。ふつうは皿回しなんてしませんね。では、一般的に校長先生というとどんなイメージなのでしょう。校長先生というと「ちょっと怖い人なのではないか」とか、「いやそんなことはないよ、これまでも出会った校長先生は優しかったよ」という人もいるでしょう。「年齢はどのくらいかな、校長先生っていうと60歳くらいなのかな」とか、「難しい話をするのかな」とか。

まだ知らないことを「どうかな」「こうかな」と、考えることを「予想をたてる」といいます。実際にあってみると、話してみると、「あれっ全然ちがうじゃない」「校長先生っていうともっとどっしり落ち着いているのかなと思ったら違う」なんてことになります。こんな予想はまったくくだらないことのように見えます。でも実際に会う前に「どうかな」「こうかな」と考えることは、むだなことではありません。「こうかなと思ったけど、違ったよ」「いや、思ったとおりだった」ということも「予想して考えること」のうちのひとつなのです。じつは予想をたてて考えることはその人間を一步賢く

する道です。ですから知らないことやまだ出会っていないことがあるときには、積極的に予想をたててみるとよいでしょう。はずれてもいいのです。むしろはずれたら「あら思ったことと違う」と考えるチャンスなのです。私たちが予想を立てるときは、それがつまらないことであつたとしても根拠というものがあって予想をたてているものです。「校長先生というと、こんな人だと思うよ」というのも、これまでのイメージの中にあつた根拠をもとにして予想をたてているのです。それが、実際にあってみて、出会って、「予想のとおりだなあ」とか「予想とどこか違っていろぞ」というとき、その人にとって知識がひとつ増えることになるのです。予想をたてていないと、そんな知識も増えないことになるのです。ですから、なんでも予想、いつも予想、遊ぶときも、勉強するときも、どんなときも「こうかな」「こうだと思っただけどうかな」と予想をたてること、それがかしこくなる道です。これは学校の中ばかりではありません。学校を卒業して、大人になっても、社会に出たときにも通じる学びの方法なのです。これから、ぜひ、どんどん予想してみてくださいね。そう考えると、またこれからのたのしみになってきませんか。そんなふうに思うのです。

今年度もありがとうございました。私は今年で60歳になりました。役職定年といって学校を去ることになります。みなさんには、大変お世話になりました。みなさんのおかげでとてもたのしく学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

卒園生へのメッセージ 幼稚部

「卒園生へのメッセージ」

幼稚部 担任 島貫 麻衣子

芽衣さん、幼稚部修了おめでとうございます。幼稚部の3年間、芽衣さんと一緒に様々な活動をしたことは忘れられない思い出です。

春は、校地内の桜を触りに行きましたね。一緒に桜の枝に手を伸ばし、花びらを触った時の芽衣さんの表情はとっても柔らかかったのを覚えています。

夏はすいか割りをしましたね。棒を握り、力強くすいかを叩いた姿に頼もしさを感じました。

秋といえばやきいも会。芽衣さんの表情が1番輝く行事でした。やきいも1本平らげた姿に先生達は驚きました。食欲旺盛な芽衣さんとやきいも会ができなくなるのは寂しいです。

冬は雪遊び。「芽衣さん、そり滑る？」の問いに必死に頭を横に振る芽衣さん。ですが、「先生と一緒に滑る？」の誘いには、「すべる。」と答えてくれて嬉しかったです。

4月から小学部に進む芽衣さん。嫌だなと思うこともあるかもしれませんが、でも、幼稚部で逞しく成長した芽衣さんならきっと一步一步前進していくことでしょう。これからも芽衣さんのことを応援しています。

卒園生からのメッセージ 幼稚部

「たのしかった ようちび」

幼稚部 藤沢 芽衣

ようちび、たのしかった。いろんなことが

あったよ。

はるは、さくらのはなびらをさわったよ。えだもさわったよ。てをいっぱいのはしてね。

なつは、すいかわりをしたよ。「えい！」ってぼうでたいたよ。ぽんっておおきなおとがなったよ。

あきは、だいすきなやきいもかい。たきびにおちばをいれたら、けむり、もわもわ。やきいもいっぽん、まるまるたべたよ。やきましゅまると、やきりんごもたべたよ。

ふゆは、ゆきあそび。そり、こわい。でも、せんせいとすべったら、とってもたのしかった。しゅーっておとがしたよ。ゆきやま、ずんずんのぼって、またすべったよ。

しょうがくぶ、たのしみ。どんどんあるいていこう。

卒業生へのメッセージ 小学部

「6年生のみなさんへ」

小学部 5組

担任 小刀禰 美穂子

卒業おめでとうございます。みなさんは、この1年間「やってみよう」をテーマに、さまざまなことに挑戦してきました。新しいことに挑む楽しさや難しさを実感しながら、取り組む姿がとても印象的でした。運動会や学校祭、日々の授業の中でもみなさんが「まずやってみよう」と一歩踏み出すことで、大きく成長していくのを感じました。

みなさんとの思い出はたくさんありますが、見学旅行が特に印象に残っています。たった2日間ではありましたが、みなさんのとびきりの笑顔や楽しい会話が昨日のことのように思い出されます。

中学校では、新しい環境や経験が待って

います。不安や戸惑うこともあるかもしれませんが、これまでの楽しい思い出や、「やってみよう」の気持ちを忘れずに、一つ一つ挑戦してみてください。その先には、きっと新しい自分との出会いがあるはずです。

みなさんの未来が輝かしいものになりますように。いつでも応援しています。

卒業生からのメッセージ 小学部

小学部 5組 小寺 修渡

小学部での1番の思い出は見学旅行です。オルゴール作りは、少し難しいところもあったけど、がんばって乗り越えました。中学生になってがんばりたいことは、楽しく笑顔で過ごしたいです。そのために、勉強もがんばります。理科の勉強で骨の勉強をすることが楽しみです。

小学部 5組 石田 紗雪

小学部で1番楽しかったことは、6年生で行った見学旅行です。オルゴールを作ったことが楽しかったです。天使のかわいい飾りをつけました。観光船も楽しかったです。窓から手を出したら波がかかって、冷たかったです。中学生になるのが楽しみです。英語の勉強が楽しみです。たくさん英語でお話してみたいです。

小学部 5組 加須屋 心

小学部では、運動会や文体連などの体を動かす行事が楽しかったです。中学校では、もっとたくさんの人と関わるのが楽しみです。勉強は理科をがんばりたいです。いろいろな仕組みを知って、考えを深めたいです。

卒業生へのメッセージ 中学部

中学部 3組

担任 松里 一樹

中学部3年生のみなさんご卒業おめでとうございます。中学部の生活は楽しいことや大変だったことがたくさんあったと思います。そのような経験をしてきたみなさんなので、高校生になっても自信を持って学校生活を送っていきけると思います。3年生の時には、先輩として後輩に色々なことを教えたり、面倒を見てくれたりしたと思うので、高校に入学したら先輩たちにわからないことをたくさん教えてもらってください。4月からは高校生活がスタートしますね。高校生になると中学生までとは違った勉強や行事などがあり、初めは戸惑うこともあると思いますが、楽しいこともたくさん待っていると思うので、心機一転頑張ってください。部活などにも積極的に参加して、たくさん経験を積みながら成長してほしいと思います。これからもみなさんのことをずっと応援しています。

中学部 4組

担任 廣上 綾

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3年前、真新しい制服に身を包み、あどけない表情で中学部に入学してきた皆さんでしたが、中学校生活で様々な経験を重ね、心も身体も大人へと成長しましたね。周りを思いやり、素直な心で前に進む皆さんと共に3年間過ごさせてもらったことに喜びを感じています。ありがとうございました。

4名の皆さんは、互いを尊重する姿勢が

とっても素敵でした。特に宿泊学習や行事では、相手の意見に耳を傾けて行動したり言葉を掛けたりするなど、周りを気遣う姿が沢山見られました。学年を追うごとに成長する姿に頼もしさを感じていました。

4月から始まる高校生活では、中学校生活で身に付けたことや経験を糧に、自信をもって色々なことに挑戦していただきたいね。

保護者の皆様におかれましては3年間、教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございました。今後ともお子様の成長を温かく見守っていただけると幸いです。3年間ありがとうございました。

卒業生からのメッセージ 中学部

中学部 3組 伊藤 蓮桜

中学部での思い出は、白杖修理屋で白杖の修理をしたことです。自分も使っている白杖のことができてとても良い経験になりました。高校生になったら勉強や作業を頑張ります。

中学部 3組 田村 優衣

中学部の皆さんそして先生方お世話になりました。

中学部で特に印象に残っているのは見学旅行で前日に熱を出してしまいましたが無事に行けてよかったです。

高等部にあがったら中学部で学んだことを活かして頑張ります。

3年間ありがとうございました。

中学部 3組 斉藤 雄聖

私は中学部生活でいろいろなことを学び、経験することができました。

お世話になった家族や先生方にはとても感謝しています。今まで本当にありがとうございました。

高等部に入っても頑張ります。

中学部 4組 岡崎 仁胡

見学旅行が楽しかったです。函館に行きました。バスに乗りました。船にも乗りました。唐揚げ、アイス、お刺身が美味しかったです。また函館に行きたいです。

高等部では作業を頑張ります。将来、ケーキ買うために頑張ります。

卒業生へのメッセージ 高等部普通科

「卒業生のみなさんへ」

高等部普通科 3年 1組

担任 安藤 翔

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。このよき門出の日を心よりお祝い申し上げます。

皆さんとは2年間過ごしましたが、学級では持ち前の明るさと豊かなアイデアで、様々な状況を乗り越えていく姿に、頼もしさを感じていました。特に、2年次の学校祭での舞台発表と模擬店を通じて、学級の団結力や生徒同士の絆を深められたことが、今でも強く印象に残っています。

卒業後、皆さんはそれぞれの道を歩んでいきます。新しい環境に馴染むまでは、心細さや寂しさを感じることもあるでしょう。そんな時も、これまでのお思い出や経験を糧にしながら、苦しいときも乗り越えてほしいと願っています。

そして、いつも皆さんのことを支えて下さる保護者の皆様や、多くの方々への感謝の心を忘れず、これからの人生を歩んでく

ださい。応援しています！

「卒業おめでとう」

高等部普通科 3年2組

担任 越智 美月

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの学年には3年間関わらせていただきましたが、日々の成長を近くで感じることができ、とても嬉しかった瞬間がたくさんありました。

校外学習や見学旅行、F ビレッジの体験学習など、校外で行う学習では、事前に計画や目標をしっかり立て、達成することができました。日々の学習、学級・学年レク、2・3組で行った様々な行事など、どれも思い出深く、一つ一つの出来事が昨日のこのように思い出されます。

これから様々な困難や大変なことが待ち受けているかも知れませんが、日々努力することを忘れずに、乗り越えていってほしいと思います。家族や周りの方々への感謝の気持ち、立ち止まっても明るく前向きに歩いて行こうとする気持ちを忘れずに歩んでいってください。心から応援しています。

保護者の皆様におかれましては、日頃の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生からのメッセージ 高等部普通科

「3年間の思い出」

高等部普通科 3年1組

田川 麟太郎

卒業の時を迎え、3年間を振り返ってみると、「あっという間だったなあ」と強く感じます。私は、印象に残った行事が3つあり

ます。

1つ目は見学旅行です。見学旅行で一番楽しかったことは、東京ディズニーランドに行ったことです。東京ディズニーランドで思い出に残ったことは、友達と一緒にアリスのティーパーティーに乗ったことです。普段は学校の友達と外出することがあまりないので一緒に遊んで楽しかったです。

2つ目は弁論大会です。弁論大会を通じて、私に文章を考える力を与えてくれました。私は文章を考えることが苦手でしたが、自分の思いを文章で整理し、本番で発表することができました。苦手なことにも挑戦することに意味があると思いました。

3つ目は学校祭です。学校祭では舞台発表や模擬店を成功させるために、クラスが一体となり団結したことや成功したときの達成感を学ぶことができました。他のクラスの舞台発表や模擬店を楽しめたことも良い思い出です。

後輩のみなさん、高校生活は、本当にあっという間に過ぎ去ってしまいます。身近にいる仲間を大切に、盛り上がるときは盛り上がり、みんなで心を一つにして頑張るときは頑張り、充実した高校生活を過ごして下さい。お世話になった先生方、職員のみなさん、本当にありがとうございました。みなさんとの思い出を胸に、新生活、自分らしく頑張っていきたいと思います。

「卒業を迎えて」

高等部普通科 3年2組

紺屋 友希

高等部普通科での3年間を振り返ると、自分にとって初めて経験することがとても多かったと感じます。

3年間で一番楽しかったことは、一緒に学習する友達が増え、2、3組のみんなとた

くさんお話したことです。中学部までは二人で学習することが多かったですが、高等部では初めてたくさんの人数で学習することができました。友達と、好きなアニメやYouTube、家族の話などをしたことも楽しかったです。また、行事では、見学旅行で初めて飛行機に乗ってディズニーランドに行ったり、家族にたくさんお土産を買ったりしたことも良い思い出です。

私はこの3年間で学んだことを忘れずに、卒業後は社会人として仕事に早く慣れ、毎日元気に働けるように体力をつけていきたいと思います。今までお世話になった友達、学校や寄宿舎の先生方、本当にありがとうございました。

卒業生へのメッセージ 専攻科保健理療科・理療科

卒業・修了生のみなさまへ
高等部専攻科保健理療科3年
担任 虻川 浩一

卒業・修了生のみなさま、おめでとうございます。

入学当時は、座学や実技などめまぐるしい毎日の連続だったと思います。しかし、理療師をめざす日々の努力が、患者さんから「気持ちよかったです。ありがとうございます。」と感謝されるまでになりましたね。苦しくとも自分に負けないで乗り越えてきた証だと思います。「やればできる」という自信に確信をもって、勇躍前進の自分史を刻み歩んでください。私も、影ながら応援しております。

「修了おめでとうございます。」
高等部専攻科理療科3年
担任 早川 佳吾

修了生の皆さん、おめでとうございます。

高等部普通科から進学してきた方も久々の学生生活となった方もいました。理療の世界に挑戦するという大きな決断をしてから3年が経ちましたが、専攻科での学校生活はいかがだったでしょうか。

臨床実習を通して、たくさんの患者様に施術を行ってきました。その過程で、理療の素晴らしさに気付くことができたと思います。施術を通して患者様の身体的な愁訴を改善することはもちろん、人と人との繋がりを通して精神的にも癒すことができたと思います。施術を受け、身体の不調が改善して嬉しそうに帰っていく方をみると施術者自身とてもやりがいを感じられます。このような経験ができるのも理療の素晴らしさの一つだと思います。

卒業してから環境が変わり、不安もあると思いますが、努力を忘れず、自信をもって、患者様一人一人に寄り添える理療師になってください。

皆さんのこれからのご活躍をお祈り申し上げます。

卒業生からのメッセージ 専攻科保健理療科・理療科

高等部専攻科保健理療科3年
鈴木 哉真斗

自分はこの3年間で学んだことが2つあります。

1つ目は、自分が努力しているところを、誰かは必ずみているということです。以前の僕は、努力しても結果に結びつかず、誰も努力している過程なんて見てくれないと思っていました。でも専攻科に入って1人のクラスになってから、少しずつできるようになっていると先生方が

ら言われるようになりました。テストでは結果しかみられないけれど、授業では覚えていることが増えているかどうかしっかりみているよと言われ、そのことに気づくことができました。

2つ目は、1日5%でも頑張れば100%に近づくということです。5%でも頑張れたと思えば、例え失敗したとしてもあまりくよくよせず、今日できなかつたら明日頑張ればいいかと前向きに考えられるようになりました。

これからも、誰かは自分を認めてくれていてということに感謝しつつ、夢に向かって少しずつでも前に進んでいきたいです。

「3年間を振り返って」

専攻科理療科3年

向井 洋

村川 成菜

私たちは専攻科に入学し、理療師になるためさまざまなことを学んできました。これまで学ぶことのなかった解剖学や経穴といった専門的な学問にふれ、苦勞することも多くありました。新たなことを経験し過ごした3年間は本当にあつというまでした。

特に印象に残っていることは？

向井 「1年生のときの鍼実技の授業です。還暦を過ぎた私にとって、新しい技術を身につけることは思った以上に大変でした。練習台になってくれる人の腰に鍼が入らないのは、クラスの中で自分だけ……。本当にあせりました。でも、先生方が毎日のように放課後に教えてくれたおかげで、何とか克服できました。」

村川 「臨床実習です。これまで限られた人しかかかわりのなかった私は、専門的な技術や知識に加えて患者さまとコミュニ

ケーションをとらなければならない状況にとても苦勞しました。ですが、実践を重ねることで、少しずつ克服することができました。」

思い出に残っていることは？

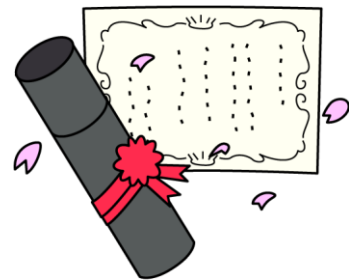
向井 「学校祭の模擬店です。クラスメイトや先生方と知恵を絞り、保護者の方の協力も得て豪華賞品をそろえた私たちの模擬店は、毎年大盛況でした。タイムマシンに乗って、40年前の高校時代に戻ったような気持ちでした。」

村川 「クラスメイトと学習したことです。特にテスト前には放課後に残って実技の練習をしたり、わからないところを聞きあつたりなどしました。同じ目標に向かって努力する人が身近にいることは、私にとってとてもありがたかったです。」

卒業後も、一人でも多くの患者さまに満足していただけるよう、知識と経験を積んでまいります。

最後にこれまで支えてきてくださった先生方、暖かく見守ってきてくださったPTAの皆様、日常生活で助けてくれた在校生の皆さんに感謝の気持ちを述べて終りとさせていただきます。

3年間本当にありがとうございました。



転出・退職者紹介

<管理職>

校長 野戸谷 睦（役職定年・退職）
副校長 秋山 卓也（帯広養護学校）
事務長 安住 順子（退職）

<教諭>

杉本 英通（定年退職 再任用・札幌伏見
支援学校もなみ学園分校）
能登 亜美（江別市立第一中学校）
小刀禰 美穂子（特別支援教育センター）
梁田 将史（平取養護学校）
高田 栞里（中標津支援学校）

<指導実習助手>

小谷 茂子（白樺高等養護学校）

<専門寄宿舍指導員>

佐久間 昌展（小樽高等支援学校）
片山 亜紀乃（退職）

<期限付教諭>

北御門 孝志（任期満了）

<再任用教諭>

出井 博之（任期満了）
小松 徹（任期満了）
米田 岳男（任期満了）
檜森 誠一（任期満了）

<期限付実習助手>

中森 豊（任期満了）

<事務>

中野 結（石狩翔陽高等学校）



後記にかえて

令和6年度も終わりですね。

1年間、皆様方のご理解とご協力、誠にありがとうございました。

皆様、体調に気を付けてお過ごし下さい。